3類型	鉱工業品	通巻番号	4－23－025
地域資源名	レース	認定日	平成24年2月3日
地　域	金沢市、小松市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、志賀町	所管省庁	経済産業省

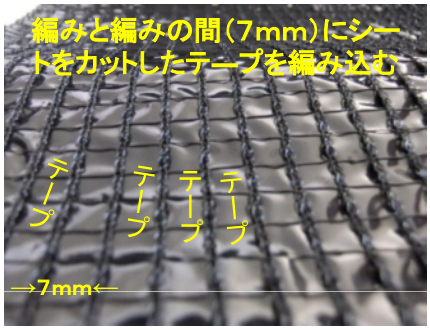
事業名：編レース技術を活かした防草機能の高い植栽シートの商品開発と販路開拓事業

会社名：寺井レース有限会社　　所在地：石川県能美郡川北町字田子島い32

連絡先：TEL：076－277－1511　　HP：無し
FAX：076－277－1315

事業概要（新たな活用の視点）

・同社は、創業以来、技術開発で培ってきた編レースの技術を植栽シートに応用するとともに、編み機械上でシートをテープ状にカットして編み込むという独自の技術を組み合わせた結果、遮光性、透水性、通気性に優れ、高い防草機能と緑化機能を併せ持った新しい植栽シートの製品化を実現した。
・シート素材のカッティング幅や素材そのものを自由に変更できるため、市販のテープ状原糸の規格（幅や原糸の巻き状況、素材など）に左右されることなく、製品の機能性向上や顧客の多様なニーズに柔軟に対応することが可能である。



【同社植栽シート（拡大画像）】

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力
・編物の特長である柔軟性・伸縮性と遮光性の高いシート素材の利用により、優れた遮光性、透水性、通気性を実現し、ヒメイワダレ草などの植栽との組み合わせで緑化・防草両面に高い効果が得られるため、植栽シートとしての競争力に優れている。
◆市場性
・環境意識の高まりやヒートアイランド現象対策による緑化・植栽市場の拡大、少子高齢化社会の進行に伴う労働力不足から防草管理の外注化が進むなど、市場は今後とも成長が見込まれる。
・全国の都市公園面積は平成21年度末で116，667ha（東京都の面積の約半分）であり、5年前と比較して10%伸びている。
◆販路
・敷地、道路のノリ面や沿道緑化工事を実施する建築土木業者をターゲットとし、直接アプローチに加えて、展示会・商談会の活用などにより緑化・防草事業市場への販路開拓を進める。

【施工 約1ヶ月後】

【施工 約半年後】

地域における関係事業者等との連携

・異分野への進出であることから、地域の土木工事業者、川北町商工会・公的支援機関に加えて、新たに業界の防草・植栽研究機関等との連携も図りながら製品開発・販路開拓に取り組む。